

重要なことであるかを實地に教示した。全面積二百八十域の内、如女林が四〇域も保有してあることは吾等の大いに学ぶべき處、従つて製材所も自家原木で經營して居る由で羨望の外ない、其他にも煉瓦工場あり、綿作、牧畜、雑作、蔬菜等広範に亘つた經營法は耕主がいかに百姓熱心であるか窺い知ることかひざる。最後に二、三、四年物の新品種ムンドノボの生い立ちも拝見した、此の地帯は起伏も相当激しく地味もよい様に見受けられた。従つて中々見事な新樹が育ちつゝあるが、請負制度の經營である為め、同作が過重で折角の珈琲も押され気味であるかに見えた。先般ウニニニの樋口氏の珈琲樹(三年半)の見栄をみるに驚いたが、之と比較して遜色をいりみかより優良であるのではないかと思ふ。此の耕地の誇りとする新樹を見れば、トスにも古土地とはいへ、之れ以上の物が育つて居る現実の標本があるのを知つて大いに意を強くした次第である。尤も樋口氏の新珈琲園はバストスに於ても最も好適の場所ではあるが、移住地内にはまだ、永年作物の一つとして珈琲園造營が新しく始まるよう熱望してやまない。又天下四時間あまりも徒歩で耕地内を見学し、セー天に帰り、耕主の親功なるもてなしを受けて辞去した。(紙面の都合上以下次号)

誠実と勉強

オント前 浮田金物店

ハラパン 原百花園吟行

去る四月廿二日バストス仙人掌吟社及オクルスのパイネーラ吟社合同でハラパン原百花園へ俳句吟行に出かけた。園内やうやく秋色濃きエーカリ林の下に句座を設け、心ゆく心ゆく吟作句に耽り、技を競つた。この日原園主は自ら珈琲の接待をし、落葉を掃いて客設けをするなど大いにナージュとして下さつた。

濁り水撫で、柳の素拵れたる
草の笑や池にかぶり立手柳
根上りの栢の青さよ秋日和
朽ちホート沢める池と位の実
苗木屋の門をす太き枯れ柳
ふるさは懐し挑の返り花

菊子 秋扇 南風 志峯 古雪 春歩

養蚕移民受入

希望者におしらせ

去る四月十日、ハラリス夕養蚕協會本部で行われた地方代表者會議で、本年度移民受入れに關し協議の結果、大体五十家族を見当に受取れることを決議致しました。受入れ御希望の御方は左記事項御承知の上御申込下さい。

訃

一 入植後移民に與える住宅の用意ある事
一 移民に養蚕を行わしめる用意ある事
一 契約期間三ヶ年

○初年度は見習(伯国に於ける飼育方法)期間とし、日給最低大人五〇、小兒四〇、婦人四〇、十六才未満に三〇、クルビ支給することを、規準とする。

○二年目三年目は歩合飼育の方法で行うことを規準とする。

又特別知人又は近親者を養蚕移民として指定する事も出来すが、これも右記の規定に基くものでなければならぬ。其の他細工にわたる点は協會関係者に御面談下さい。

○申込は五月十日迄

ハラリス夕養蚕協會
バストス支部長 崎田春一

蒲 晒はね上る

ここ数年マユの値が出ないで、ヨリガフにいや氣をさしはじめ、転業する人も少なくなつた。今年に入つてか、俄然うなぎ上りとなり、今や百ミルに手が届き相になつた。

ところが此の景氣が少くとも十年はつづきますように、今年日養蚕社も盛大に願掛けをするという、養蚕家各位もこの際信仰を厚くし、何かと協力してマユ景況維持を計らねばなるまい、又ソレツとはかり養蚕希望者がバストスへ殺倒する傾向もあるというから、新養蚕移民導入と相俟つて、こゝもとヨリザンの香を謳歌することになれば幸いである。

吾々になじみ深い

ブラジルの薬草

センカリのつづき

苦味や辛味や芳香は口や胃を刺戟して
 唾液や胃液の分泌を促し、消化を助ける
 一方腸壁の吸収作用を活発にする健胃整
 腸作用がある。だからこのラシタ苦味芳香
 健胃薬は胃腸を大丈にし薬や食物成分の
 吸収作用を高めるので胃腸病、神聖衰弱
 結核等の広範囲に用いる

医者も重曹と共に万病の薬に用いてい
 ると申して過言ではないと思えます
 センカリはよく効くが大量のつづきで
 とヒエ性の人はよくない(家畜にも用い
 るが)民間では之れを絞って飲んでい
 るが妊婦することわざと信ぜられてい
 るからでしよう
 昔の人は「聞かば、無敵なものに三十過
 さの男の意見とか」(聞かば効かば)「良
 薬は口ににがし」とか簡単な言葉で要領
 を得させて居ります

文献 刈米達夫 薬学雑誌 133:47 49.702
 中沖七郎 49.142

(五) トウモロコシ (日本名) 禾本科 *Zea mays*

唐蜀黍 (トウモロコシキビ) / 粟称

当地でいうミールヨの事であり、
 薬用とするのは藍(毛)で玉蜀黍とよば
 れています。毛に含まれている成分は、
 ヒトステロール、ヘロキシター、ビ葡糖糖
 キラシン等、此の毛は利尿作用があり腎
 臓薬として用いられる。普通ニタツカみ
 の毛を五合の水が半量になる迄煎じ食同
 に茶代りに飲む

お産して顔や体にむくみが来ればた
 様な時特效があります。種子の成分は蛋
 白酸粉、蔗糖、糖化糖、ペントサ、セアキサン
 チ、リノール酸、オレイン酸、パルミチン酸、
 リセリン、エステル等であり、
 水腫腎臓健胃等、毛のない時代には種
 子の合を水ニ汁でよく煎じ茶代りに飲む
 ミールヨは主に飼料として作られる。日
 本全土朝鮮北南滿、中國南方諸地域に於て
 も焼いたり蒸したり一才した加工をして
 食用とされています。春村の外より花あり
 大陸の村は懐しい、こんなことをここに
 持ち出したのは、此らの地方でも昔この
 トウモロコシの毛を薬用にし重宝してき
 ましたことを申上げたかかったかゆでもあり
 ます

(六) ヘチマ (日本名) 絲瓜

胡蘆科 *Cucurbitaceae*
 学名 *Cucurbita pepo*

とににでもぶわりと下っているあのヘ
 チマです。熱帯地の乾燥期にはこれの若
 い果の皮をむき味噌汁、汁物のみにした
 り豚脂でいためたり、豚料理ツケモノと
 大差用途も広く、その為めに柵や手のい
 らぬ特別の種類も作られて居りました。
 私も輸出用のヘチマ以上のヘチマの夕ネを
 持って来ましたが、注意を怠った為、本
 年は当地のものの方が強く出ました。
 薬用化粧用とするのはヘチマの莖を地
 上三尺位で切り、切り口を一本環の口
 さし込んで果めたヘチマ水心ありませ
 へ吹米ではキウリを化粧料とします。四
 〇、五〇以上の男の方でも昔はやつた
 チマコロンという化粧水の広告を思いだ
 していたかけると思えます。美人水とい
 えはヘチマ水の事でした。ヘチマをさ
 して畑仕事にさるヘルメットを作つ
 て見ました。が、重ねると日も通らず、風
 通しは申分なく、都市にきて出ても近よ
 って見るものは、もの好きな米人位でした
 かう、そう愛でもなかつたと思つて居ます。
 ○用法及効能
 毒消し血液の浄化、産後の頭痛、マイ食
 血には花の乾したものを一日量三々煎じ分
 販す。腰痛や神経痛等の痛止や咳止めに
 はヘチマ水三合に米砂糖一ニギリを入
 二合五勺に煎じ一日三回食後に五三三杯
 つつと飲む。火傷にはヘチマ水で乾くまの
 ない様に湿布すると大差よい
 蜂などにかざされた所へチマの莖葉をも
 んでつけるのはアンスニア化合物を合ん
 ている為の酸を中和するの痛みも早く
 なくなり合法的処置といえます

筆者は小野山薬行老ウニニ

新入荷

誠実と勉強

- マッシュード (コルネツス)
- リーマ
- 電気アイロン
- アルコデアア (日本品)
- カンカリ (ポルボレッタ)
- ネスミ取り
- ランプ各種

ポント前
浮田金物店



ナルトホテリオ撮影記

バストス寫真同好会の壯挙
豪華な野外スキヤキ会

バストス寫真同好会の主中行事の中で最も大きな期待と興味のある第六回野外撮影会が去る四月廿一日(土)にバストスの日を利用してオライオ河畔ナルトホテリオに決行された。全行程九十里、此の地は距離からいって申し分ない勝景の地である。氣遣われ居る二日前からの雨もからりと晴れて絶好の撮影日和、参加人員二十八名、相續後、東音氏、古考格の山沢、上ヶ島、雨宮、都合、行に共に、さなかつた事は残念だ。だが、その代り橋本溪と溪谷など六人のエツサが参加したので、バツと花が咲いたようだ。皆大花びらつた。殊に此夜の撮影会は橋本さんの発案で野外スキヤキとシラスコ會をあれらおうという初めての試みが行われるので、食いしん棒でなくとも期待はまわめて大きかつたわけである。

五時四十五分全員勢揃いして未だ深い眠りに包まれて居るバストスの町を出発した。カミニオンには長橋君の厚意でフアレリンヨのナツコを並べたので、上等のソツ石一同様、すわり心地は万点だ。六時三十分パラソンの手前、日の出を拝み、七時四十五分ナルセリアについた。ここで少憩、熱いカネに腹を温め、愈々最後のコース、ナルトホテリオ迄四十料を一氣に突破することになる。ルセリアを四、五料離れると見渡す限りカネの大樹海、大きななうねりを見せ、辰用する。大したカネが、カネだ。今からでも遅くはない。バストスでも植えたらなと誰かの声がある。カネカネと今度は無限の大バストだ。ナルトホテリオ迄延々と続くのである。そのバストたるやコロニオンの見事な二と、牛を飼っている長橋君すはらしいな。アと嘆息すれば、アと人なバストの牛、うまいだろう。アとアと戸田君早速話を胃の方へ持っていくので大笑い。十五料の所にパトリモニオがあつて小さいヤウもナルマシア、肉屋など並んで居り往年のモンテアイ口の所が偲はれた。ここを過ぎて暫く走っていると内カミニオンを調子がおかしくなつて修理に一決、車を止め、平田シヨウ君、若一歩懸命にホンバと直す。一行中でも宮崎長橋安者君たち、晩に覚えの面々入智恵やらアジリやら、一時半を費してアツと出発した。此の道はオライシヤールではないが、川の

AVISO de CARTORIO de BASTOS

急 告

出生届がバルパ市に登録されて居る方々にお知らせいたします。皆さんの御便利を計り、当地カルトリーオが代行して証明書を取得するよう、取り扱います。出生證明書(ナツシメント)の必要な御方は至急バストスのカルトリーオへ御申込下さい。カルトリーオバストス 各位

近くはバルバが二つある。道三十料は一直線である。かくして午前十時三十分遂にナルトホテリオに到着。積んで来た荷物、この食料が豪華なものでカルネ二十五キ、豆腐十丁、卵二箱、其他葱、砂糖、醬油等。調味料からフライパンに木炭、これら日橋本会長が此夜の撮影行に御馳走された。外にセルベリジャ、カラマリモンジニヨに各自の辨当とある。これでは脱線して、各み会にならぬとも限らぬ。とりあえず河岸の樹陰に陣を張ってスキ焼の準備と、とりかかると、腹の虫が鳴く事しきり、腹ごしらえをせぬは良い寫真は絶対撮れぬと象徴一決したので各自部寄をきめて、ゆき出した。入ルて来た箱は忽ち粗板に一爰し、モツサ連はフスキがけでカルネと切るやう串にさすやう、八重松は鋸でき、たえと腕でネギをぶち切る。柳浦君はベビータを全部河の中にぶち込んでしまふ。冷蔵庫をもつて行かぬはと出発の時騒いだ。たが、旅程柳浦君に委せておけば萬年OKとある。扱って僕見たようなら不審印がア一連中は石を集めてにわか造りのフゴッで炭火をおこすのが唯一のセルビツソだ。おれも充分火が出来ぬのに鍋掛りは肉鍋をかけた。は、や、や、音を上げてはじめる。半煮えでもかまうもんかと左党連中皆よくセルベリジャのクンパをぬくや石の上にと、つかと大あぐらをかいて、いよいよ野

外スキヤキ会がはじまった。日本人のつ
きものスキヤキ。それも野外で味わら
うのは又格別である。波のひかき、波の音
をききながら、一時間皆可なりかんぱつて
詰めこんだ。到底全部食べ切れぬもので
はない。シエラスコは三分の二のこって
しまった。腹ごしらえが出来たので、これ
から今日の大目的の撮影にかからねばな
らない。一人去り二人去り寫真撮をぶら
さけてあらかた消えてしまった。(つづく)
(筆者は幹事、早川榮樹氏)

見落すと大変な損

トラトール牽引車 レボッキ

は課税されることになりました。
トラトール所持者に注意

去る四月 日トラトール所持各位にお
集りねがってレボッキ税免除に關し、レ
ボッキ氏と懇談することとなり、その日
は未解決のまま、散会しました。以下その
後の様子を御しらせ致します。
本署長の御意見では、三台や五台のものな
ら別だがバストスのように数が多くては
やはり規定通り処理をしなければ自分の
落度となること。

これとは別に京野四郎氏に依頼してリオ
Conselho Nacional de Mandato 及聖市の
Conselho Regional de Mandatoにて調べて
もらった結果(口頭)が判然とせず、課
税の條項は免税を申請するより道がない
ようであります。

又市役所方面へは市議の谷口氏小林氏が
奔走して下さったが結局本年は時期がお
そすぎるので、免税運動は来年早々市会
(下段へつづく)

告

バストス体育連盟

四月廿九日、三十日、五月一日の三
日間マリリアで地方対抗野球大会が
開催されます。この大会の入場券(三
日通し券)が来て居りますから

太郎田商店まで

御いで下さい

を通じて行くこととし、本年はレレガー
ド氏の指示通り、課税に公なることにな
りました。

皆さんの御期待に及れお氣の毒ですが前
述の事情から、左の様にレボッキ税
御払い下さる様御しらせ致します

納税期日 来る五月十日迄のこと
十日以後は別に二百針ムル
タがのきます

一九五六年四月二十三日

市会議員 西 谷口 厚 徹

小林 平 行

トラトール組合代表 駒 一

各位

右にのつぎ納税をバ取得等手續きは組
合として、西 氏に御手教願うこ
とに話をしてあります。希望者は
バストス商業会計事務所内 西 徹
氏を御訪ね下さる様御信へ致します

増田 駒 一

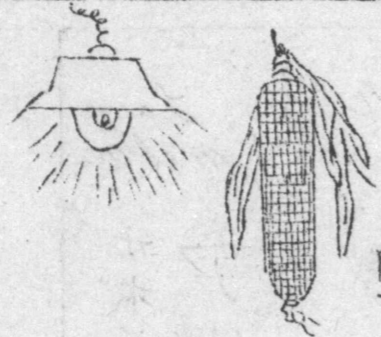
ミーリヨの脱粒

ミーリヨの脱粒なら

仕事に馴れて早い店

野澤一衛

御用命下さい



日曜日
夜でも

御用命に依じます

ミーリヨの値が下りましたから
私の方もテブリヤ價を下けて

一俵十二針と致しました

只今がデブリアの

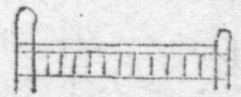
絶好の時期です

野澤一衛

フロリダ ハイショット街

フクモリの大奉仕

カーマの大安賣り



極上の靈柩 *Festa* 棺

五月中にお求めの方には
定価の一刻刻で差上げます

ありあわせの粗末な物では
御座いませぬ。トッパンと
同じく、クラッセ エスペシャル
上等品も御用命により製作
いたします

古いリーマが 新品になります

リーマも只今は中々高いので、再
生して使われぬ御換です

再生料

長さ一インチにつき一針五百
普通のリーマでしたら一本
十二針から二十針で、全くの
新品となります
おためし下さい

シネマ館上

福木林家具製作所

一週放言 (但し、これは放言に非ず)

ここに泉あり

金融の途

前号、農業は頭らしく積極的としと果々
同内容です。が、と鋭く書いてあり
ますので御参考。筆者は医者で判
りませんが、多分商社の方でしょう。

農業をやつて行く上には資金を借りなけ
ればやつて行く事が大々敷い農業が七
〇%位あるかと思われ。どんなに
てその資金を求めて居られるか知りぬが
南銀とか或はコペラチーハ又は商店で短
期の融通を受けて居られるのではな
い。然らば何も下はたかない頭を下
けて借りないでも堂々と伯銀なり州立銀
行なり行って低利で而も長期の金を借
りて事業をやつてゆく方が遙かに賢明な
やり方だと思ふ。

然し此の、銀行を利用するには先づ農
業登録をしておく必要がある。或はこ
れ等の銀行にリシヤを入れる事かも知れぬ。
此の仕事はそこの事務所に頼めばやっ
てくれると思ふが、これは各農家所属の組合
の仕事であろう。さく所にすると伯銀は
鶏一羽に三つ六つと貸す。

賣り家

アデマール街 シネマ館の向側

二階建木造 (階上三室、階下七室)

右格安に賣りますから 御希望の
方は 喜多商店 又ハ

加藤与太郎氏

御面談下さい

Lava
melhor

サボン

アルバトロズは



主婦にとって必要欠く
べからざる
サボンと思ふ
次第である
何となれば

いかなるヨグレもすく落ち、
美しきわが手を、荒らすこ
となき故である。

諸君はアルバトロズを愛用されよ

である。

筆者は何も金を借りることを奨励する
のではないが、組合側としてもコンタコ
レンチの帳尻の赤字が増えることを好ま
ぬとすれば、こう言う方法を組合員に教え
て、さういう御世話をしてもよいのではな
いか?

或る農家から聞いた話だが、組合側が貸
金の増えるのを好まぬので、今年以降は
トをいれず、やつて見て一と先が組合の
ネーバを精算するつもりだとのこと、
その努力には敬服するが、然し次の事は
之に依つて事業に行き詰る事は明らかで
ある。

折角バスターズ産業として抬頭した養鶏
業も、かくては一頓座する事にはならな
いであらうか。組合側も研究され、農家
への軍資金を周旋するよう御願ひ申し度
いものである。

伯銀の金融は単にニワトリ計りではな
い。棉アメンド、土地購入、トラクター
購入等、その他いくつもの融資の道はある。
農業者の向上は資本を利に導入する
が如何か、居ると思はれる

【この種の投稿を歓迎します】

Disse-lhe que entrasse.

Empurrou a cancela, que ranguu nos gonzos, e dirigiu-se a passos lentos para casa. Eu nunca tinha visto um homem enlameado; pastas de lama umas ainda húmidas, outras já sêcas, cobriam-no dos pés á cabeça e via-se que ele tinha andado durante muito tempo por maus caminhos.

Ao som das nossas vozes, acudiu a senhora Barberin, e no momento em que ela transpunha o limiar da porta, achou-se em frente dele.

- Trago noticias de Paris, disse o recém-vindo. Estas palavras eram bem simples, e já mais de uma vez tinham soado aos nossos ouvidos, mas o tom em que foram pronunciadas não se parecia nada com o que dantes acontehava a frase: "O seu marido vai bem, o trabalho caminha".

- Ah! meu Deus! exclamou a mãe Barberin pondo as mãos na cabeça, aconteceu alguma desgraça a Jeronimo?

- É certo, mas não precisa adoecer de susto; o seu marido foi ferido, essa é que é a verdade; mas felizmente não morreu. No entanto, talvez fique aleijado. Agora está no hospital. Fui seu visinho de cama e como eu voltava agora para a terra ele pediu-me para lhe contar o caso da passagem. Não me posso demorar porque tenho ainda tres leguas para andar e a noite não tarda aí. A senhora Barberin, que queria saber mais pormo- neres, pediu ao homem que ficasse para ceiar; os caminhos eram maus: dizia-se que tinham aparecido lobos nas florestas; ele podia tornar a partir no dia seguinte pela manhã. O homem sentou-se ao canto da chaminé e enquanto comia ia-nos contando como tinha acontecido o desastre: Barberin tinha sido esmagado por uns andalimes que tinham caído e como se provou que elle não devia ter estado no local onde o desastre se deu, o empregueiteiro recuára pagar-lhe qualquer indemnização.

- Não tem sorte, o pobre Barberin, disse ele, não tem sorte; há espartalhoes que eram capazes de encontrar aí um meio de arranjar uma fortuna; mas o seu homem não ha de ter nada. E enquanto enxugava as calças que estavam têzas sob aquella capa de lama endurecida, repetiu sempre: "nã tem sorte" com uma pena sincera, mostrando assim que pela sua parte, de boa vontade se faria estropiar na esperança de ganhar uma boa pensão.

- Godavia, disse ele, ao acabar a sua narrativa, eu aconselhei-o a que intentasse um processo contra o empregueiteiro.

- Um processo, isso custa caro.

- Pois sim, mas quando a gente ganha!

A senhora Barberin tinha vontade de ir a Paris, mas era uma empreza terrivel, uma viagem tão comprida e tão dispendiosa! Nodia seguinte pela manhã fomos á aldeia para consultar o cura a esse respeito. Este não a quiz deixar partir sem saber antes se ella podia ser util ao marido. Escreveu ao capelão do hospital onde estava sendo tratado, e uns dias depois recebeu resposta, dizendo que a senhora Barberin se não devia pôr a caminho, mas que devia mandar uma certa quantia de dinheiro a seu marido, porque este ia intentar um processo contra o empregueiteiro em cujas obras tinha sido inutilizado. Passaram-se os dias, as semanas, e de tempo a tempo chegavam cartas que todas ellas pediam novas remessas de dinheiro; a ultima, mais importante que as outras, dizia que se não havia mais dinheiro era preciso vender a vaca para o arranjar. Só aquellas que viveram no campo com os camponeses sabem quanta angustia e quanta amargura ha nestas tres palavras: "vender a vaca".

Nós viviamos tanto da nossa, eu, e a mãe Barberin, que até aquell tempo eu quasi nunca tinha comido carne. Ela, porém, não era só a nossa a ma, era tambem a nossa companheira, a nossa amiga, porque não se deve julgar que a vaca é um animal estúpido. Contudo tivemos de nos separar, porque só com "a venda da vaca" é que se podia satisfazer Barberin.

Agora, nem "Fussa", nem leite, nem manteiga, nem terça-feira gor - é o que eu tinha dito cá para mim com tristeza. (continua)

遙かに祖國の空を望み

天皇御誕生の日を慶祝いたしましたよう

昭和三十一年四月廿九日

バ ス ト ス 連 合 日 本 人 會
 バ ス ト ス 中 央 青 年 團
 バ ス ト ス 婦 人 會
 バ ス ト ス 商 工 組 合 一 同 會
 フ ラ タ ク 製 糸 工 場 燃 糸 工 場
 バ ス ト ス 産 業 組 合 出 張 所
 バ ン ン ラ ン テ 産 業 組 合 出 張 所
 南 伯 中 央 産 業 組 合 出 張 所
 コ ナ ア 産 業 組 合 バ ス ト ス 倉 庫
 ク ラ ン ジ ア バ ス ト ス 組 合 庫

聯青の辯論大会の原稿その他投書をお預りして居りますが紙面の都合で次号に廻します。尚、前号二頁「ドトル」ホリス氏はカーカネラホーラには関係なき由、訂正いたします。

サンチスタ配合飼料代理店
 上ヶ島製粉工場

金の卵を産む鶏

本社直接と同値で差上げます

サンチスタの完全配合飼料を

試みに

一度だけ

使って見て下さい

粒と粉のニッ通り

一粒一粒に完全な配合ができています

それが大サンチスタ

の誇りであり

名に賭けての

責任で

ごさいます



RACÃO SANTISTA

AGENTE (K.URA)

Desimtearacão de Milho

H. KAMIGASHIMA

Bastos C.P

Casa Cristal

結婚シーズンが

近づいてまいりました

お祝の贈物は

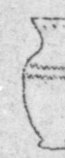
どなたにも喜ばれる家庭必需品... 体裁がよく、品質のよい

阪東商店

カーガクリスタイルを御利用下さい

只今大勉強大安賣中です

贈って喜ばれ、使って重宝を



- 美麗な茶道具各種
- コーヒー用セット
- レフレスコ用ガラス器
- サラダセット
- 菓子器 果物入サンミ皿各種
- フリスタイル花瓶・寫真立・置物

その他瀬戸物がガラス器アルミ製品、台所用品一式、安くて強くて体裁のいい品物が沢山そろいました。一度御立寄りお値段をお調べ下さい

カーガクリスタイル